

平成19年度予算 施策別概要

225 安心して使える県産材等の提供

22501 県産材等の安定供給の推進 (環境森林部)
22502 林業・木材産業の担い手の育成(環境森林部)

(主担当部局：環境森林部)

< 施策の目的 >

(対象) 県産材等が

(意図) 安定的に供給され、県民のくらしの中で積極的に利用されている

< 施策の数値目標 >

施策目標 項目 (主指標)	県産材(スギ・ヒノキ丸太)の 需給量	目標値	2010	324千m ³
			2007	320千m ³
		現状値		319千m ³

三重県内で生産されるスギ・ヒノキ丸太の製材所等における年間需要量(丸太の供給量)
(農林水産省木材需給報告書)

県の取組 目標項目 (副指標)	「三重の木」認証材の製材工場 からの出荷量	目標値	2010	10,000m ³
			2007	8,500m ³
		現状値		5,137m ³

< 現状と課題 >

- ・ 森林は「木を植え、育て、収穫して、また植える」緑の循環を通して守り育てられ、林業は山村地域の生活、経済を支える産業として重要な役割を担ってきましたが、木材価格の低下や需要の減少などにより、生産活動が停滞しています。一方、木材の生産、加工、流通は小規模かつ分散的で、とりわけ流通は多段階を経過する構造となっており、また、品質や規格が明確にされた製品に対する需要が高い中での対応も十分にできていません。
- ・ さらに、他産業に比べ林業の収益性は低く、労働環境が厳しいことなどから、林業従事者の減少および高齢化が進むとともに新規就業者の定着率が低く、事業体の経営基盤も脆弱で、機械化等が遅れています。

< 平成19年度の取組方向 >

県産材の利用を進めるには、消費者が求める品質や規格の明確な製品を安定して提供することが重要なことから、地形や作業内容に応じた林道整備や高性能林業機械の導入等による生産性の向上や生産・加工・流通間の連携を強化して計画的に県産材を供給する仕組みづくりを進めるとともに、「三重の木」認証制度の定着等に取り組みます。加えて、きのこの等の表示の適正化などに取り組み、安全安心な特用林産物の提供を進めます。さらに、こういった取組が円滑に進むよう、地域内外の業種間の連携を進めます。

林業の生産活動が将来にわたり継続して行えるよう、技術向上研修の開催等による森林づくりの担い手の育成や経営指導等により、意欲ある林業事業者等の育成強化をはかります。

<主な事業>

原木安定確保パイロット事業【基本事業名：22501 県産材等の安定供給の推進】

予算額： 6,700千円 6,700千円

事業概要： 原木の安定的、持続的な供給を確保するため、森林組合等が森林所有者に対し、施業実施に向けた積極的な提案を行い、高性能林業機械の活用で生産コストを抑える取組を支援します。

林道事業【基本事業名：22501 県産材等の安定供給の推進】

予算額： 1,321,037千円 1,054,980千円

事業概要： 森林の適正な維持管理をはかるため、木材の持続生産を重視する森林「生産林」を中心に効率的に森林施業ができるよう林道の開設を行うとともに、輸送力の向上と通行の安全の確保等をはかるため、既設林道の改良や舗装を実施します。

間伐対策事業【基本事業名：22501 県産材等の安定供給の推進】

予算額： 39,020千円 74,462千円 *

事業概要： 健全な森林を育成し、森林の公益的機能の発揮をはかるため、間伐や間伐材の搬出に必要な作業道の整備や、高性能林業機械の導入を推進します。

(重)「三重の木を使おう」推進事業【基本事業名：22501 県産材等の安定供給の推進】

予算額： 76,000千円 126,000千円

事業概要： 「三重の木」認証材を使った家づくりの情報発信を行うとともに、「三重の木」を使用する住宅建築を支援することにより、県産材の利用の促進をはかります。

(新)(舞) 森の恵みの価値向上事業【基本事業名：22501 県産材等の安定供給の推進】

予算額： - 千円 3,536千円

事業概要： 三重県産特用林産物の付加価値を高めるために、きのこ等の品質衛生管理マニュアルを整備し、生産現場への導入を進めます。

林業普及指導事業【基本事業名：22501 県産材等の安定供給の推進】

予算額： 6,244千円 5,827千円

事業概要： 森林施業が持続的に実施されるために、森林所有者や事業体に対して、機械化や低コスト化などの林業に関する技術および知識の普及と森林施業に関する指導を行い、林業経営の合理化をはかります。

(一部新)(重) 林業担い手育成確保対策事業

【基本事業名：22502 林業・木材産業の担い手の育成】

予算額： 5,911千円 8,202千円

事業概要： 新規参入促進のための普及啓発や技術の研修等を行い、森林整備、木材生産を担う林業就業者の確保育成をはかります。